

報道発表資料

相談解決のためのテストからNo. 177

令和5年6月14日
独立行政法人国民生活センター

消費生活センター等の依頼に基づいて実施した商品テスト結果をご紹介します。

吹き出し口が溶けたヘアドライヤー

1. 依頼内容

「ヘアドライヤーを使用したところ、吹き出し口が溶けた。吹き出し口が溶けた原因を調べてほしい。」という依頼を受けました。

2. 調査

相談者によると、当該品は購入から約4カ月が経過した頃に、吹き出し口が溶けていることに気がついたとのことでした。

当該品の外観調査を行ったところ、吹き出し口に溶融がみられ、吸い込み口に設けられたフィルターには埃による目詰まりが確認されました(写真参照)。

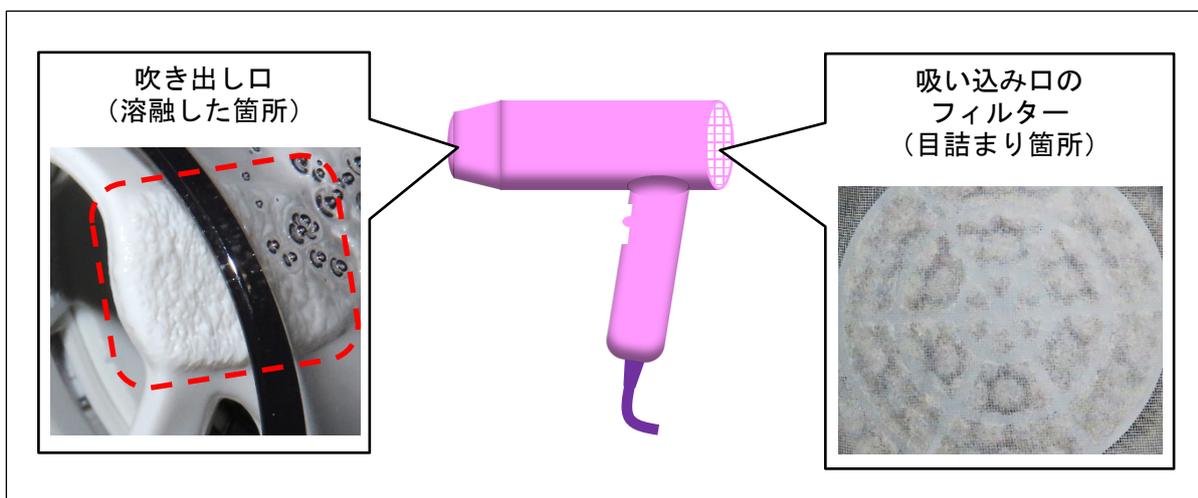


写真. 吹き出し口の溶融と吸い込み口のフィルターの目詰まり

そこで、当該品の吸い込み口に設けられたフィルターの清掃前と清掃後及び新品の同型品をそれぞれ3分間動作させ、吹き出し口の温度を比較したところ、当該品の清掃前は最高で132.7℃まで上昇しましたが、清掃後は最高で97.6℃となり、新品の同型品（最高95.0℃）と同等でした。

このことから、当該品はフィルターに埃が蓄積して風量が低下し、吹き出し口の温度が上昇したことによって溶融したものと考えられました。また、当該品の取扱説明書には吸い込み口をこまめに手入れする旨の記載がありました。

3. 消費者へのアドバイス

ヘアドライヤーの吸い込み口に埃が蓄積した状態で使用すると、風量が低下することにより温風が正常時よりも高温になり、吹き出し口の溶融ややけどの原因になることがあります。取扱説明書をよく読み、定期的に吸い込み口の清掃をするようにしましょう。

本件問い合わせ先

商品テスト部：042-758-3165